

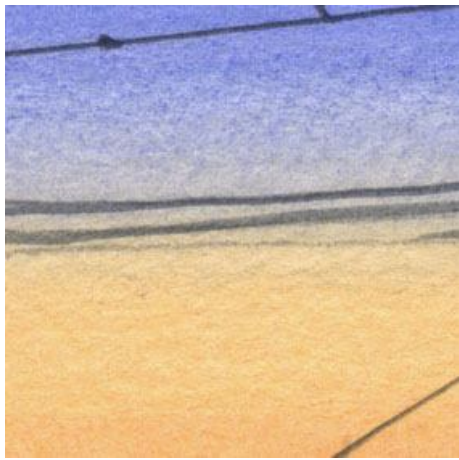
# 水彩画教室「残照の道」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

小川町郊外にあるこの道は もともと貨物線の軌道敷でした この近くに住んでいた祖父は散歩が日課で 小さい頃私はよく祖父にくっついて この道を歩きました 「一番左の平らな山が堂平だよ 山の上に牛が寝ているだろう」と祖父が教えてくれました それは牛ではなく当時の東京天文台のドームでした あれからもう45年も経ちますが 残照の風景はほとんど変わっていません 右側の路地から 杖をついた祖父が歩いて来そうな気がします



これが完成した絵です



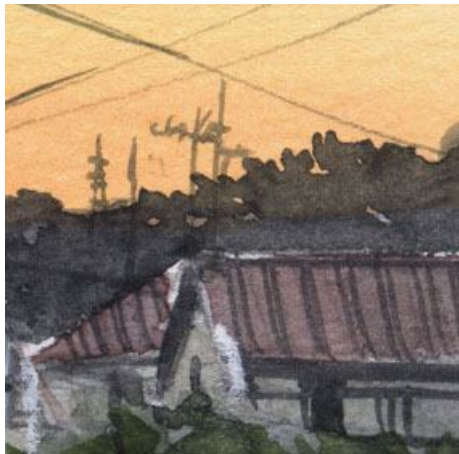
1、夕焼けの基本はジョン・ブリアン(肌色)です グラデーションは 迷わず一気に描きます



2、山は 背景の空が乾いてから 青紫のシルエットで描きます 背景がやや透けても良くそれも効果的です



3、電柱や電線は 遠近感を的確に表現できるので 私は迷わず構図に入れます



4、近くの丘の森 シャドウ・グリーンに 更にブラックを混ぜて 点描風に描きました



5、歩道の柵は 修正液を使って描きました 少し滲んでも気にしません



6、「残照」は弱い太陽光なので 影は長く やや弱弱しく描きます